

第1学年1組 国語科 学習指導案

単元名：よんでほしいな！「むし大はっけん」  
「わたしのはっけん」

男子 17名 女子 15名 計 32名

指導者 清水 智恵

単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領国語科第1学年及び第2学年、「書くこと」の指導事項「ア 経験したことや想像したことなどから書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集めること。」「ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。」「オ 書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うこと。」の内容を受けて設定したものである。本単元では、学習指導要領「書くこと」の言語活動例「イ 経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章などを書くこと。」を基に、生活科で育てている虫を観察して、気付いたことを多くの人に知らせることを目的として「むし大はっけん」と題した観察記録文にまとめる言語活動を位置付ける。生活科「いきものとなかよし」の学習と関連させ、観察をして気付いた虫の様子を記録するために必要な事柄を集め、文章を書く力を身に付けることをねらいとしている。

また、「むし大はっけん」を多くの人に読んでもらうことを通して、観察したことや観察して感じたことなどを、言葉にして書いて伝え合う喜びや楽しさを感じさせることで、書くことに対する関心・意欲を高めることができる単元でもある。

- 本学級の児童は、1学期に短作文の学習を積み重ねたことで、文章を書くことに喜びを感じ始めている児童が多くなってきた。「みんなにしらせよう」では、生活の中での出来事を簡単な文章に書いたり、「えにつきをかこう」では、絵を描くことで文では表せないことを補って書いたり、意欲的に文章を書くことに取り組んできた。また、生活科の「あさがお観察カード」では、様子をしっかりと見たり、触ってみたりなど、五感を使って感じ取ったことを絵や文で表現することも少しずつでき始めている。しかし、「観察して書く」文章について具体的に学習するのは初めてである。

○課題を発見・解決する力

虫の様子を観察し、発見したことを書く「観察記録文」では、虫を探し、ふれあい、じっくりと観察しなければならない。新しい発見が広がり、意欲をもって観察ができるよう、生活科「いきものとなかよし」の飼育活動と関連させ、教室で飼育をし友達と一緒に観察する活動を充実させる。導入時には、虫の絵を描く活動を行う。絵に表す活動は、自然にじっくりと見たり、描くことで新たな特徴を発見したりすることができる。虫とのかかわりを多く仕組むことで、「自分の虫」という愛着をもたせ、気付いたことを文章にして、多くの人に読んで自分の発見したことを知ってもらいたいという願いを児童から引き出した。

○深く考える力

本単元で付けたい思考力は、観察対象の虫の様子を伝えるために、多面的に観察し必要な事柄を集めたり分類したりする力である。観察対象を見て気付いたことは「はっけんメモ」として付箋紙に記録していく。「はっけんメモ」を充実させ必要な事柄を集めるためには、五感を生かし、観る視点を変えて観察していけるように、「かんさつめいじんのわざ」を提示し、対象を多面的にみて考える力を

育成する。五感をバランスよく生かして観察できるように、付箋の色分けをし、観察の観点として足りないところに気付いたり補ったりできるようにする。さらに、「かんさつめいじんのわざ」には、メモを書く際に使うと効果的な言葉も示し、より多面的にメモに書いていけるようにしたい。また、「はっけんメモ」を生かして思考させるために、「くみたてシート」を活用する。はっけんメモ（付箋）を貼るスペースを作り、必要なメモを選んだり並べ替えたりしながら、事柄を整理させる。また、メモを基に語と語とをつないで文章を書く際には、メモを確認しながら書いていけるようにしたい。

○ **自己を理解する力**

「むし大はっけん」を書き、それを掲示してたくさんの人に読んでもらうという単元のゴールに向かって、観察して発見したことが相手にうまく伝わるように書くにはどうすればよいか、「観察記録文」の特徴に気付かせる。そして、観察記録文を書くためには、どのような学習をしていけばよいかを話し合いながら、「学びのモニタリング」の視点を明らかにする。学習内容や付けたい力を掲示し、随時活用することで、児童が見通しや目的意識をもって学習に取り組めるようにしたい。

単元の振り返りの段階では、「むし大はっけん」を友達と交流し感想を伝え合うことで、自分や友達の観察記録文のよさや工夫に気付かせたい。学びのモニタリングにより、自らの学びや学び方を振り返る際には、多面的に思考し観察記録文を書くことの大切さや、交流を通して、より伝わりやすい文章を書くことに気付くことができた喜びを実感させたい。

**単元の目標及び内容について**

- 虫を観察して、気付いたことを記録する文章を書くことに意欲的に取り組もうとする。  
【関心・意欲・態度】
- 観察して気付いたことや発見したことなど、文章に書きたい事柄を集めることができる。  
【書くこと ア】
- 観察したものの様子がよく伝わるように、語と語との続き方に注意してつながりのある文章を書くことができる。  
【書くこと ウ】
- 観察記録文を読み合い、お互いの文章のよいところを見付けて感想を伝え合うことができる。  
【書くこと オ】
- 言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。  
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ（ア）】

**単元の評価規準**

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
【言語活動】 自分のお気に入りの虫の様子を伝えるために、観察記録文を書く。		
虫の様子に関心をもち、進んで観察し、気付いたことを記録する文章を書くようとしている。	観察して気付いたことや発見したことなど、文章に書きたい事柄を集めている。観察したものの様子がよく分かるように、語と語との続き方に注意して、つながりのある文章を書いている。観察記録文を読み合い、お互いの文章のよいところを見付けて感想を伝え合っている。	観察記録文を書くことで、観察したことを記録する言葉の働きがあることに気付いている。

## 指導と評価の計画

全 7 時間

次	時	学習活動	評 価				
			関	書	言	評価規準	評価方法
一	1	<p><b>課題の設定 (1)</b></p> <p>○「むし大はっけん」として文章にまとめることを知り、学習の見通しを立てる。</p> <p>・生活科「いきものとなかよし」の学習や自分の体験を想起しながら、身の回りにいる虫を観察して、気付いたことを文章に書くという学習課題を確認し、「学びのモニタリング」の視点を共有する。</p> <p>・虫について気付いたことを書いた文章をたくさんの人に読んでもらいたいという意欲をもつ。</p>	○			<p>・虫の様子に関心をもち、文章に書いてたくさんの人に読んでもらいたいという意欲をもっている。</p>	行動観察
	2	<p><b>情報の収集 (2)</b></p> <p>○「はっけんメモ」の書き方を知る。</p> <p>・「はっけんメモ」に記録する項目を確認し、多面的な観察の視点を理解する。</p>		○		<p>・様子を伝えるために必要なメモの視点を理解している。</p>	行動観察 ワークシート
	3	<p>○観察記録文を書くために必要な事柄を集める。</p> <p>・気付いたことをメモ（付箋）に書き、「かんさつめいじんシート」に集める。</p>		○		<p>・視点をふまえて詳しく観察し、メモに書いている。</p>	行動観察 ワークシート
		<p><b>常時活動</b></p> <p>・観察記録文に書き入れたい日々の気付きを付箋に書き、「かんさつめいじんシート」に集める。</p>					
	4	<p><b>整理・分析 (1)</b></p> <p>○メモの中から、文章に書きたいものを選び整理する。</p> <p>・「かんさつめいじんシート」の中から書きたいメモ（事柄）を選び出し、「くみたてシート」にはる。</p>		○		<p>・メモの中から観察記録文に書きたい事柄を選んでいる。</p>	行動観察 ワークシート
二	5	<p><b>まとめ・創造・表現 (1)</b></p> <p>○「くみたてシート」を基に、観察記録文を書く。</p> <p>・メモを基に語と語とをつなげて文章を書くことや観察したことを記録する文章に、思ったことを書き加えることを理解する。</p>		◎	○	<p>・メモを基に語と語をつなげて、様子がよりよく分かるようにかくことに気付いている。</p> <p>・観察したことを書く文章に加えて、自分の思ったことを表現している。</p>	行動観察 ワークシート

生活科「いきものとなかよし」での飼育活動

次	時	学習活動	評 価				
			関	書	言	評価規準	評価方法
三	6	<b>振り返り(2)</b> ○作品を交流し合う。 ・書いた文章を読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合う。 <b>【本時】</b>		○		・書いた文章を読み合い、互いによいところを伝えたり、アドバイスをしたりしている。	行動観察 ワークシート
		<b>常時活動</b> ・清書した「むし大はっけん」を掲示して、読んでもらった人に感想カードを書いてもらう。					
	7	<b>学びのモニタリング</b> ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・単元の初めに立てた「学びのモニタリング」の視点で、「かんさつめいじんシート」や観察記録文を基に自らの学びを振り返る。	○			・自らの学びや学び方を振り返り、学習したことをこれからの学習に生かそうとしている。	行動観察 ワークシート

### 本時の学習

#### (1) 本時の目標

- 書いた観察記録文を読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うことができる。

#### (2) 本時の評価規準

- 友達の観察記録文のよいところを見つけて感想を伝えている。

【書く能力】

#### (3) 本時の学習展開（6時間目／全7時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力
1 本時の学習課題を確認する。	◇書いた文章を読み合い、感想を交流することを確認する。	
めあて 「むし大はっけん」をよんで、よいところをともだちにおしえてあげよう。		
<b>本時のゴールの見通し</b> A: 「かんさつめいじんのわざ」が生かされているところを見付け、自分の文章と比べながら伝えている。 B: 「かんさつめいじんのわざ」が生かされているところを見付け、伝えている。		
2 感想交流の観点を知る。 (感想の書き方) ・様子が分かりやすかったところ。 ・観察の仕方が上手だと思ったところ。 ・自分が観察したことと比べて思ったこと。 ・もっと教えてほしいこと。	◇感想の書き方の観点を示す。 ◇教師のモデル文を読みながら、感想カードの書き方を理解させる。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p> <p>☆育成したい資質・能力</p>
<p>3 友達の書いた文章を読み, 感想を書く。</p> <p>○よく観察しているな, 上手に書いているなど思ったところはどこですか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>□思考の場の工夫 <b>多面的にみる</b></p> <p>交流の観点をふまえながら, 観察文の良さを具体的に評価し交流している。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひげが動く様子を書いてあるのがいいね。</li> <li>・コオロギは暗いところにかくれて鳴くことをよく見付けたね。</li> <li>・ぼくも, もう一度虫の顔をじっと見てみようと思ったよ。</li> <li>・顔のところにある足みたいなのってどんなものか教えてね。</li> </ul> <p>4 友達と感想を伝え合う。</p> <p>○観察名人だなど思ったところを伝えよう。観察名人だなど思ってくれたところを聞いてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひげがピクピク動いていましたと書いていたところが分かりやすかったよ。</li> <li>・ぼくの文章のいいところを見つけてくれてありがとう。</li> </ul> <p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>○グループで感想を伝え合ってみて, どんなことを思いましたか。</p>	<p>◇自分の選んだ虫とは違う虫について書いた観察記録文が読めるように, グループを設定する。</p> <p>◇「かんさつめいじんのわざ」シートが活用できているところを探し, 一番よいと思ったところに線を引き, 感想を付箋に書かせる。</p> <p>◆感想の書き方の観点を基に, 文末が書いてあるカードを用意し, 友達の文章のよいところを入れて, 感想を仕上げることができるようにする。</p> <p>◇感想交流の仕方を確認してから, 伝え合いを始めるようにする。</p> <p>◇自分の書いた感想を伝え, 感想を書いた付箋を友達の観察記録文用紙に貼るようにする。</p> <p>◇友達の感想を聞いた後, そのお礼や付け加えが言えるように促す。</p> <p>◇友達の文章のよかったところや友達が伝えてくれた感想の中でうれしかったことを発表させる。</p>	<p>☆観察したことを記録することや, 人に伝えることができるよさに気付いている。</p> <p>◎友達の文章のよいところを見付け, 感想を伝えている。 〔書く能力〕(行動観察・カード)</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コオロギの顔をじっと見て, 足みたいなのが2本あるのを見付けているところが観察名人だなど思いました。ぼくのトノサマバッタの顔にも, 足みたいなのがついているのかなと思いました。</li> <li>・ひげがピクピク動いていましたと書いていたところが分かりやすかったよと言ってもらえてうれしかったです。他の人にもぼくの「むし大はっけん」を読んでもらいたいなど思いました。</li> </ul>		
	<p>◇次時は, もっと多くの人に読んでもらえるよう, 掲示用の「むし大はっけん」を準備し, 単元全体を振り返ることを確認する。</p>	

(4) 板書計画

まとめ

かおをじつとみて、みつけているところが、かんさつめいじんだな。  
ぼくのむしのかおにも、あしみたいなものがついているのかな。

教師のモデル文

感想カード例

感想カード例

感想カード例

めあて

「むし大はっけん」をよんで、よいところをともだちにおしえてあげよう。

よんでほしいな！「むし大はっけん」  
わたしのはっけん

かんそうのかきかた

- くわしくてわかりやすかったところ
- かんさつのしかたがじょうずだとおもったところ
- じぶんがかんさつしたことくらべておもったこと
- もっとおしえてほしいこと

◎よいところをみつけてつたえる。  
✿よいところをみつけ、じぶんのぶんとくらべてみる。

<参考> 学びのモニタリング

**学びのモニタリング**

よんでほしいな！「むし大はっけん」  
「わたしのはっけん」

④

べんきようして きづいたこと・できるようになったこと・やってみたいことなどをかきましょう。

③

◎ ○ △

たくさんの人に「むし大はっけん」をよんでもらって、よかったとおもう。

②

👁️👂👋

をつかって「かんさつメモ」にかいた。

①

◎ ○ △

「むし大はっけん」をかくために すずんでむしのようすをあつめた。

一ねん くみ )

小国1年 - 6